

平成3年11月28日

ゆぎ
山形県遊佐町を候補地に
『区民健康村』新設構想

豊島区は、今年4月に策定した「生涯学習推進計画(10か年計画)」の中で、保養・健康・スポーツに加え、農作業・酪農作業など生産体験を付加した「区民健康村」建設の構想を打ち出していたが、このほど、その候補地として山形県遊佐(ゆぎ)町が急浮上し、協議が進められている。

遊佐町が候補地となった経過は、今年6月、遊佐町側から「地域開発及び活性化のために首都圏の自治体との交流を望んでいる」との意向が伝えられたことによる。これを受けて豊島区では、7月から11月にかけて書類調査・現地調査を実施し、建設候補地として最適であるとの結論をまとめた。

遊佐町は、秋田県境に至る山形県の最北部に位置し、面積約208平方キロ、人口約2万人。産業は、農業が庄内ササニシキ、砂丘を利用したメロン・すいか生産、水産業は日本海での漁業、月光川での鮭漁など。観光資源としては、海(日本海)・山(鳥海山)・川(月光川)・砂丘(日本三大砂丘の一つ)・温泉(あぼん西浜温泉)の5大自然。観光施設は、300人収容の国民宿舎と旅館10軒・民宿9軒のみで、まだまだ開発されていない「日本の原風景をとどめる」自然郷といえる。

東京からの交通は、空路なら、羽田～庄内空港(50分)～遊佐(車で40分)。列車は、東京～新潟(上越新幹線・1時間50分)～遊佐(特急・2時間10分)。自動車では、東北自動車道(仙台経由)で6時間30分、関越自動車道(新潟経由)で7時間。

遊佐町側では、豊島区による『区民健康村』計画について、「形態を問わず豊島区民の来町を強く希望している。しかし、現在の町の財政規模・民間資本の状況では、新規のリゾート施設建設は早急に実現しにくい。そこで、現在の町施設を利用するか、あるいは、豊島区による施設建設を望んでいる。施設建設用地については、豊島区の意向に従って、いつでも提供する用意がある」と積極的な歓迎の意思を示している。

豊島区では、「距離的に遠いなどの課題も残されており、建設時期は未定だが、今後は、区民と遊佐町民との交流を進めながら、実現に向けて協議を重ねていきたい」としている。

問合せ 社会教育課長